

翻訳資料

# タイ貧民連合

以下の文章は、タイの全国的民衆運動体である貧民連合（Assembly of The Poor）発行の紹介リーフ（原文：英語）を翻訳したものである。

これまでの30年間、タイは開発に失敗してきた。この課題を共通の出発点として、異なるグループ、異なる潮流の人々が集まり結成されたのがタイ貧民連合である。そこに集まる人々の多様さは、様々に起伏する大地の造形や自然のなかにある様々な多様さを越えるものがある。貧民連合には大小さまざまな潮流が参加している。多様な人々の経験が、異なるグループからなる一つの組織を作り出すことを可能にしたのである。

貧民連合という大河は、民衆が最大限にそこから享受できるような国の発展という共通の目的地に向かって流れている。民衆、とくに草の根の人々が開発計画に参加する機会をえて、人間社会と環境が危機に陥っているこの時代を乗り越えることが求められている。

貧民連合には次のような草の根の民衆運動が参加し、ともに声をあげている。

## 1：ダム建設に反対する運動

1-1. パクムン・ダムやシリントーン・ダム、ラスリサライ・ダムなど、これまでに建設されたダムによって被害をうけている人々。こうした人々の要求は正当な補償とこれ以上のダム建設の中止である。

1-2. カンスアテン・ダム、ポンクンベッチ・ダム、ラムドムヤイ・ダム、ラプロウ、別名マラマオ・ダム、マラマルアン・ダム、サイブリ・ダムなど現在、計画が浮上しているダムに反対している人々。この人々はダム建設の中止を求めて闘っている。

ダム建設に反対するすべての人々は激しい反対運動を長年にわたって展開し、そのなかから一つのグループへと集まった。そしてなお各地で力強い抵抗を続けている。

## 2：保全林、自然保護林内での生活と労働の権利を求める運動

2-1. 東北農民連合は保全林、自然保護林のなかでの生活と労働を求めて闘っている。

2-2. 北部の様々な森林居住先住民たちは河川流域での天然資源の管理、生活と労働の権利を求めている。

2-3. 同様の運動が中央平野部と東北部でも展開されている。

これらのグループは生活と労働の場を要求しており、また森林管理への民衆の恒久的な参加を求めている。森林資源の管理と利用への民衆の権利を保障するように求め、コミュニティ森林法の制定を掲げている。

## 3：政府による大規模開発に反対する運動

3-1. ラヨン県プルアンデン郡での産業廃棄物処理場の建設に反対する運動

3-2. チェンマイ県ハンドン郡でのゴミを利用した発電施設の建設に反対する運動

3-3. プリラム県ナンロン郡、スパンブリ県ムアン郡など各地の民衆の労働の場を潰して進められる政府関係施設の建設に反対する運動

これらのグループのほとんどは先祖伝来の農業を守るために、また農業に悪い影響をおよぼす環境破壊に反対するために闘う農民たちである。

4：政府に持続可能な農業の推進を要求する人々

タイ政府の農業政策は外資を獲得するために輸出指向となる傾向がある。これらの人々は政府に対して健全な自然環境の保護、適切な経済システムとコミュニティ基盤の強化を要求している。

5：南部地域で小規模漁業を行う漁民たち

彼らは漁業は自然のバランスを破壊しないという点を強調しながら、政府に対して海産資源の保護と商業的漁業によるその破壊を防止するように求めている。

6：労災被害と労働者たち

劣悪な労働環境、安全対策の不備、化学物質による被害などにより病気になった労働者たちは、政府に対して雇用主に労働災害の責任を取らせ、労働現場の安全対策を義務付ける法律の整備を求めている。工場内の衛生環境基準を遵守させるための法律も必要である。

7：スラム

都市部の貧しい人々は生活の権利を求め、また政府からの支援施策を求めて闘っている。

そのほかにも、遺伝子組替作物の生産を規制する法律、農地改革と適正な農地分配のための法律、相続税や固定資産税を定める法律などを求める運動もある。

だが貧民連合という大河はその目的地に達するまでに長い道のりを経なければならない。そしてこれまでも、現在も世界の各地で民衆が経験しているように、様々な障害を乗り越えて進まなければならないだろう。

草の根の民衆運動（貧民連合）にとっての主要な課題

タイにおける開発の実情を変革することを最大の課題とする貧民連合の運動は、それゆえに社会構造に大きな衝撃を与えるものである。貧民連合の要求は困窮した人々が抱える問題を解決し、基本的権利の実現を要求するという点であるが、そこには社会構造の多くの面の変革の意図がこめられている。それは例えば法制度改革、社会倫理の増進、地方分権化などである。

貧民連合はその目標の実現に向かって、次のような障害と闘わなければならない。

1：社会的諸問題に対する世論の関心と理解を深め、成熟させること。貧民連合のこの面での活動は、問題の取り上げ方においていまだ表層的である。開発に伴う諸問題を十分に理解しているのは、一部の知識人、政府職員、政治家に限られている。メディアにおいても貧民連合の要求が包括的に伝えられているとは言えない。現在の社会をどう見るのかという点について責任を負っているメディアは、これまでの開発の考え方を代弁しているに過ぎない。

2：現在の経済危機のなかで強まる政府権力。現在、タイ政府はその資産、戦略、政治システムおよび国家諸機関を強力に統合することで、これまでの政策の失敗によって発生している構造的な危機からの回復を試みている。1961年から現在に至るまで続けられてきた経済社会開発計画のせいで、社会システムと経済状

況は深刻な危機に見舞われている。こうしたなか指導的位置にある政治家や諸勢力は、経済危機という問題を解決するためには、これまでの社会構造のうちの上層部分のみを正せばよいのだと主張し世論を先導している。大きな企業体であるメディアもまたこうした主張を後押しし、他方で民衆運動が他の方法を人々の前に提起することを抑圧している。

3：こうした危機的状況を打開するための民衆運動の側の提起を広げる活動は、いまだ不十分であり人々に届いていない。提案している内容そのものは専門的で創造的であるにもかかわらずである。つまり不足しているのは、様々な運動の形態、(実現性のある)闘い方を世論の前に提起するための手段であり、また知識的階層内の諸グループが固く結束して要求を実現するために指導的に行動するということである。貧民連合は実際、人々に運動を提起すべき指導的位置に立っている。

4：運動としていまだ課題を抱えているとはいえ、貧民連合は一部の先進的中間階層から国の恒久的発展のために指導的な役割を果たし、そのための選択肢を提起することを期待されている。また下層階級からは食料供給の問題などの諸課題を解決するために貧民連合に期待が寄せられている。貧民連合はこうした課題の両方を実現するために努力してきた。だが中間階層と連携した取り組みは未だ充分にその目的を実現できてはおらず、下層階級との取り組みもいまだ不十分である。これらの経験をしっかりと踏まえて運動を前進させなければならない。

5：貧民連合が結成されてからまだ12年(1995年10月10日結成)しか経っていない。この期間、運動を築き人々に訴えるために進めてきた活動は未だその目標実現の途上にある。社会変革の実現はこのような短期間の経験によって実現されるものではない。この点を理解しなければ、一部の人間が軽々に不用意な方針で運動を進めてしまいその後退をもたらしたり、あるいは運動は社会的に磐石だという他人が描いた幻想に感わされてしまったりすることになる。

これらのことによって感性が摩滅され、運動を真の意味で強化していく努力が軽んじられることに気をつけなければならない。前述の5つの課題に立ち向かうためには、まじめに根気強く活動を続けることが必要である。

まだ連携できていない他の民衆運動と結合することも重要である。そのためには正しい戦略を用いなければならない。多様な諸運動、諸集団を戦略的に結合して一つの運動を作り出すことができれば、民衆のなかに集団的な力を生み出すことができる。また慎重に時機を見極めれば、運動が蒙る損失を最小にしつつ運動を着実に前進させることが可能になる。

いかなるときも正義を求める民衆運動は次の三つの原則を守るべきである。

- 1、真実を守る：人々に受け入れられるまでに長い時間がかかろうとも、真実を守り抜き自分の立場にゆるぎなく立ち続けること。
- 2、非暴力を貫く：真に平和な社会とは平和的な方法によってのみ実現されるという固い信念に立って、要求実現のためには平和的な方法を用いること。つまり他人を傷つけたり、搾取したりしないこと。
- 3、粘り強さと自制心：どんな社会変革も個人の意図のとおりを実現されることはなく、その時代の状況や条件のなかで発生するものだ。民衆の潜在的な力を発揮させ、強固な闘いを築き、また集団による平和的な力を創造するための最大の武器は粘り強さと自制心である。

【河合大輔 訳】